

# PRESSRELEASE

## 「ゼロカーボンスクール」の実現に向けて ～校庭/キクタケスポーツヒルズの植生調査～

菊華高等学校（名古屋市守山区）では、姉妹校である名古屋産業大学（尾張旭市）と連携し、「ゼロカーボンスクール」の実現に向けた環境学習に取り組みます。

「ゼロカーボンスクール」は、緑の保全活動によるCO<sub>2</sub>吸収量の増加と、省エネ活動やエコ改修によるCO<sub>2</sub>排出量の削減にチャレンジすることで、学校生活のカーボンニュートラルを目指すものです。（注1）

本年度の取組として、本年6月に実施した本校校庭の植生調査とCO<sub>2</sub>吸収量の測定(注2)に続き、野球部等のクラブ活動の拠点となっている「キクタケスポーツヒルズ」の植生調査を行い、CO<sub>2</sub>吸収量を明らかにするとともに、山菜や食用となる果実、種子の調査も行います。

将来的には、キクタケスポーツヒルズにおける緑地保全に向けて高校生による自然共生サイトへの登録(注4)を目指します。全国的にみても高校生参加による自然共生サイトの登録例は少なく、愛知県では初めての取組となります。

ついでに、名古屋産業大学の長谷川泰洋准教授（専門：植物生態学）を招いて、第2回～4回の環境学習を以下の日程で実施しますので、お知らせします。

### 第2回【現地調査実習】

- ・日時 2024年10月22日(火)午後1時30分から15時00分
- ・場所 キクタケスポーツヒルズ（愛知県尾張旭市平子町59-1）
- ・参加者 普通科フードクリエイティブコース3年生34名

### 第3回【現地調査実習】

- ・日時 2024年10月28日(月)午後9時10分から10時30分
- ・場所 キクタケスポーツヒルズ（愛知県尾張旭市平子町59-1）
- ・参加者 普通科フードクリエイティブコース3年生34名

### 第4回【教室で結果のまとめの会】

- ・日時 2024年11月19日(火)午後1時30分から14時20分
- ・場所 菊華高等学校（名古屋市守山区小幡5丁目8-13）
- ・参加者 普通科フードクリエイティブコース3年生34名

※当日は、同大学現代ビジネス学部環境ビジネスコースで学ぶ学生もアシスタントとして参加します。

注1：名古屋産業大学は、昨年度より、文部科学省「日本型教育の海外展開（EDU-Portニッポン）調査研究事業」の採択を受け、東アジア（日本、台湾）、東南アジア（インドネシア、ベトナム）、南アジア（ネパール）を通じた環境教育の展開に取り組んでいます。その一環として、本年度は、国内外のモデル校を対象に「ゼロカーボンスクール」のモデル事例の開発が進められます。

注2：台湾では、行政院教育部が推進する「愛樹教育」の一環として、すべての小・中学校、高等学校を対象に、校庭に植えられている樹木の樹種や位置等がデータベース化され、CO<sub>2</sub>吸収量の算定ができるようになってきています。台湾の高雄女子高校では、愛樹教育のデータベースを活用し、昨年度から「ゼロカーボンスクール」のモデル事例開発が先行的に進められています。また、日本国内では、高田中学校・高等学校（三重県津市）が本年5月より、「ゼロカーボンスクール」の実現に向けた取組に着手しています。

注3：2022年4月にカナダ・モントリオールで開催された生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で合意された30by30目標（陸・海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全）を達成するために、環境省では、現在の保護地域以外で生物多様性の保全に貢献している場所を自然共生サイトとして認定しています。



学校法人 菊武学園

菊華高等学校



名古屋産業大学

Nagoya Sangyo University

【本件に関するお問い合わせ】

菊華高等学校 教諭 宇野信昭

TEL：052-791-8261(代)

名古屋産業大学

環境経営研究所長 伊藤雅一

准教授 長谷川泰洋

TEL：0561-55-5101(代)